

「生活の場」に近い病床について

第5回 長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的な方策に係る検討作業チーム	平成26年6月5日（木）	資料 3
第4回 長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的な方策に係る検討作業チーム	平成26年5月29日（木）	資料 4

必要な医療への
マンパワー・財源の集約

患者の
地域移行

住まい・施設

- ・自宅
- ・民間アパート・公営住宅
- ・グループホーム（GH）
- ・認知症対応型GH
- ・特別養護老人ホーム
- ・サービス付き高齢者向け住宅 など

患者が退院した
病床

重度かつ慢性

急性期・回復期

病院

将来的に病床を
削減を

マンパワー・財源の
地域支援への転用

地域生活を支える
ための医療・福祉

有効な活用方策に
ついて検討が必要

「生活の場」に近い病床

患者の地域移行に向けた方策は？

○将来的に不要となる病床を削減するが、
それまでの間は「地域移行を支援するため
の病床」として機能を強化

（例えば）

・入院中からの訓練等による生活能力の向上

・地域生活により近い環境の整備

（検討すべき事項）

- ・訓練等の給付は？（医療サービスか福祉サービスか）
- ・訓練等の実施場所は？（病院内か病院外か）
- ・訓練等に必要な人材は？

・外部との交流を原則自由とする 等